



■民間パビリオン / カルティエ  
 「ウーマンズ パビリオン in  
 collaboration with Cartier」  
 設計：永山祐子建築設計

「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」は、ハイジュエリーブランド・カルティエが出展しています。コンセプトは「When women thrive, humanity thrives ～ともに生き、ともに輝く未来へ～」で、すべての人々が平

等に生き、尊敬し合い、共に歩みながら、それぞれの能力を発揮できる世界を作るきっかけを提供することを目指しています。

ドバイ万博で日本館を手がけた永山祐子氏が設計を担当し、ドバイ万博と大阪・関西万博をつなげることを目指し、SDGsの目標の中で「SDGs 5: ジェンダー平等を実現しよう」と「SDGs 12: つくる責任 つかう責任」に焦点を当てています。パビリオンでは、女性たちの体験や視点を通じ、公平で持続可能な未来を志すことを来場者に呼びかけます。ドバイ万博日本館のファサードをリユースするという、これまでにない取り組みが行われています。

会場内にある「休憩所」「ギャラリー」「展示施設」「ポップアップステージ」「サテライトスタジオ」「トイレ」の計20施設は、若手建築家による設計で、これらは公募を通じて選ばれました。1970年の日本万国博覧会（大阪万博）を担当した若手建築家が、その後著名な建築家へと成長したように、大阪・関西万博でも若い世代の建築家が活躍し、飛躍することを期待しています。

